

■ 機関紹介 ■

1. 会社概要

富山県は、氷見の寒ブリ、豊富な清水に育まれた米、五箇山・白川郷の自然遺産、立山黒部のジオパークなど自然や文化に恵まれており、北陸新幹線の開業も手伝って産業と観光の県として発展している。そして当社は、3000m級の北アルプスから富山湾に及ぶ高度差4000mの多様な生態系と地形に恵まれた富山県射水（いみず）平野の中央に位置する。

会社設立は昭和53年8月で、企業に勤務していた西井義隆が、当時公害問題解決に向かう機運が高まっていた県内で「環境への提言・報告書を通して社会に貢献すること」を目指し、環境計量証明の会社“富山分析センター”として創業した。

以来、環境計量証明事業に続き作業環境測定、環境アセスメントなどを行い、主に県内の事業場および自然の環境調査、その他さまざまな分析・環境対策のニーズご要望にお応えしている。

2. 沿革

- 1978年8月 環境計量証明（濃度）登録
- 1981年6月 建築物飲料水水質検査業登録
- 1982年7月 作業環境測定機関登録
- 1989年8月 環境アセスメント業務を開始
- 1990年3月 測量業者登録
- 1998年3月 ISO 9002認証（日本海側同業初）
- 2010年10月 建設コンサルタント登録
- 2011年12月 局排点検・設計・施工事業開始
その後、環境対策サービスなど環境改善事業を開始

3. 業務内容

- ①計量証明事業（水質、大気、騒音、振動、悪臭）
- ②労働衛生関係の測定、調査（作業環境測定、局所排気装置の定期自主検査および設計・施工、作業環境改善提案）
- ③アスベスト調査、分析（建築物の維持管理・解体前事前調査・解体中の環境調査、建材

のアスベスト含有分析等）

- ④建築物飲料水水質検査、建築物室内環境測定
- ⑤土壌汚染対策法指定調査機関（土壌汚染対策法に伴う計画・調査・分析）
- ⑥環境アセスメント（計画、現況調査、予測、評価）

4. 作業環境測定の実施状況

富山県を中心に事業活動を行っており、平成26年度の実績は延べ単位作業場所約750カ所であり、種別としては、有機溶剤と特定化学物質で約75%を占め、粉じんが15%、金属類が3.5%、騒音が6.3%である。近年では法改正に伴い、特定化学物質と金属類の測定が増加傾向にある。当社では作業環境測定士が9名（うち第1種作業環境測定士が5名）在籍し、作業環境測定業務を実施している。その他に局所排気装置の性能検査も実施している。

5. おわりに

当社では、作業環境測定結果に基づいた作業環境の改善提案を実施するとともに、各職場に最適な局所排気装置の設計施工を提供していく。

また、現在産業界で新たに多くの新規物質が開発され有用性に比べ有害性が十分に把握されていない物質も使用されている。懸念される新規物質を使用する事業場の作業環境改善のため、環境測定を実施していくことを目指し事業化を進めている。

今後とも、作業環境測定結果に基づく改善提案、リスクアセスメントなど労働安全衛生・環境改善に役立つ情報提供等、付加価値の高いサービスの充実発展に向けて邁進していく。



アースコンサル(株)

<http://www.e-consul.co.jp/>